

経営比較分析表（令和5年度決算）

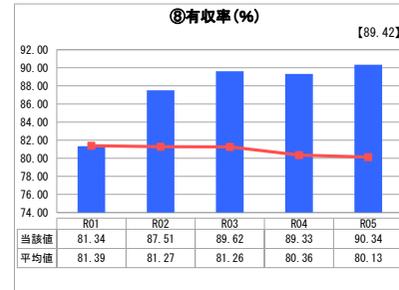
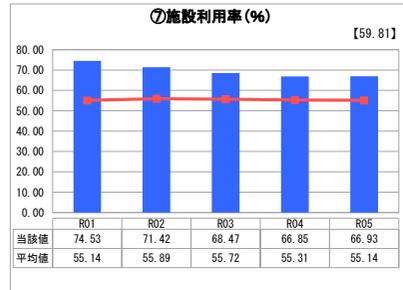
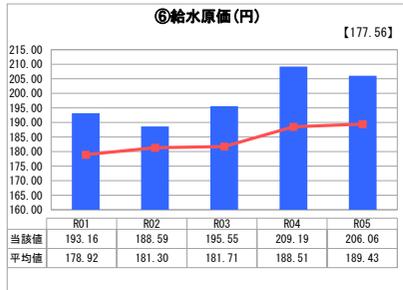
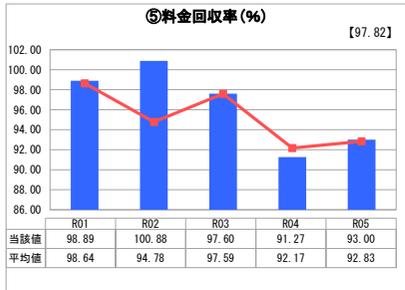
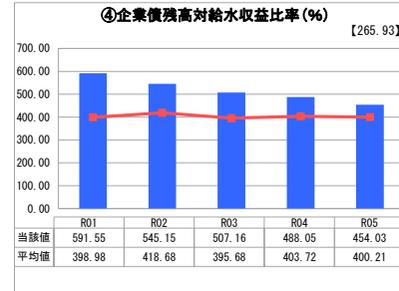
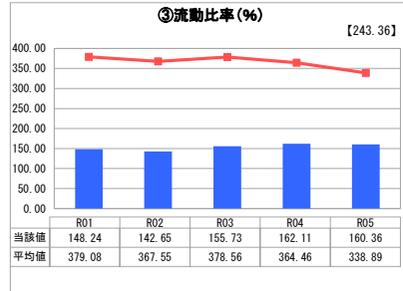
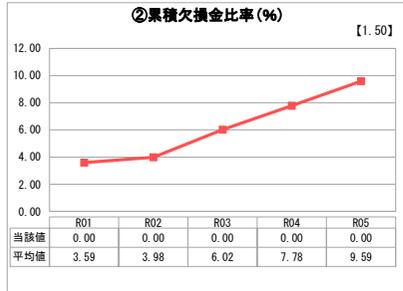
宮崎県 高鍋町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	57.07	90.75	3,311	

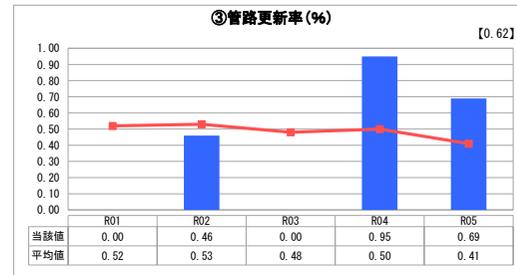
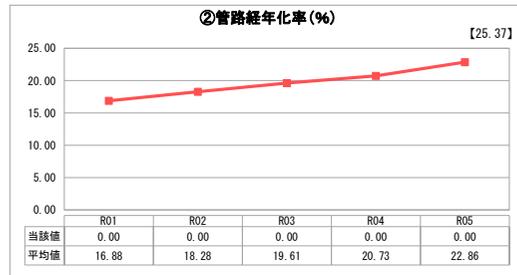
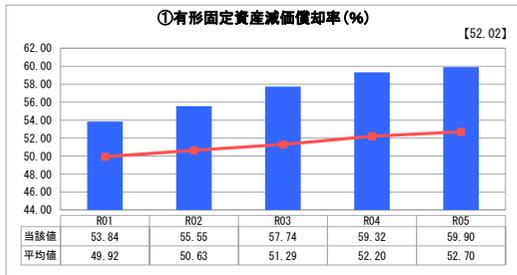
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,498	43.80	445.16
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,588	10.28	1,710.89

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析概

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
類似団体平均を下回っているが、数値は100%を超えており、現時点では健全な水準にある。令和5年度は令和4年度と比較して若干ではあるが上昇した。
- ② 累積欠損比率
欠損金がないため、健全な状態にある。
- ③ 流動比率
類似団体平均を下回っているが100%を超えており、健全な水準にある。企業債は減少傾向にあるが、今後予定している施設更新等により増加することも考えられるため、流動資産の確保に努めていく必要がある。
- ④ 企業債残高対給水収益比率
年々減少傾向にあるが、今後予定している施設更新等により増加することも考えられる。
- ⑤ 料金回収率
100%を下回っているが、令和5年度は令和4年度と比較して若干上昇した。今後も100%前後で推移していくと推察されるが、費用の削減等により積極的に取り組む必要がある。
- ⑥ 給水原価
類似団体と比較すると依然として高い水準にあり、増加傾向にあるため、後は経費の削減等の改善が必要となる。
- ⑦ 施設利用率
類似団体と比較して高い水準で、適切且つ効率良く水道施設を利用できており、良い状態を維持できている。
- ⑧ 有収率
類似団体と比較して高い水準である。今後も漏水調査等を計画的に実施し、効率の良い運営をしていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
類似団体平均値より高い水準であり、年々増加している。管路経年化率や管路更新率を見ると、管路更新は適正に実施できているため、後は施設についても定期的な更新が必要となる。
- ② 管路経年化率
当該値0%のため、適正に管路更新が実施できている。
- ③ 管路更新率
類似団体平均値より高い水準ではあるが、今後も計画的な管路更新の実施が必要となる。

全体総括

計画的に管路の更新を実施しており、あわせて漏水調査や修繕を実施しているため、有収率は高水準である。しかし、企業債残高対給水収益比率は高い状態にある。動力費、工事請負費等の高騰もあり、給水原価も高いため、今後も健全かつ効率的な経営を継続しながら、水道料金の見直し等も含め、管路や施設等の整備を実施していく。